

「議案第 2 号 令和 7 年度甲府市一般会計予算」に対する附帯決議

市立甲府病院では、放射線治療機器（リニアック）の老朽化が進み、現在使用できない状況である。

病院事業会計予算の審査において、放射線治療機器（リニアック）を更新しないという判断は、市立甲府病院の経営改善を進める上で、必要度、緊急性、採算性の観点から苦渋の決断であったことも明らかになった。

いまやがんは 2 人に 1 人がかかる病気であることから、がん治療機器を整備することは、市民の命と健康を守るために不可欠であり、速やかに機器更新を進めるべきである。

以上のことから、信頼される市立甲府病院であり続けるために、次の事項について強く要望する。

- 1 市民の安心と健康を最優先に考え、市立甲府病院において放射線治療の再開ができるよう、財政措置を検討すること。

以上、決議する。

令和 7 年 3 月 2 5 日

甲 府 市 議 会